

船舶事故調査報告書

令和7年5月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	令和6年10月10日 05時10分ごろ
発生場所	大阪府阪南港第1区 大阪府阪南港阪南2区北防波堤灯台から真方位339° 1,200m付近 (概位 北緯34° 29.9′ 東経135° 21.0′)
事故の概要	引船 ^{さかえ} 栄丸は、台船 ^{つりしま} 釣島をえい航して北進中、また、漁船 ^{ことひら} 金刀比羅丸は、北北西進中、釣島と金刀比羅丸とが衝突した。
事故調査の経過	令和6年10月17日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 引船 栄丸、19トン 260-48129大阪、新興海運有限会社 B 台船 釣島 総トン数不詳（全長60.00m） なし、深田サルベージ建設株式会社 C 漁船 金刀比羅丸、9.7トン OS2-2012（漁船登録番号）、個人所有 第250-42160号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	A 航海士A、一級小型・特殊・特定 C 船長C、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	A なし B 右舷船首部外板に擦過傷 C 船首部外板に亀裂及び破口
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 低潮時 日出時刻：06時00分ごろ
事故の経過	A船は、船長及び航海士Aが乗り組み、クレーンの部品を積載したB船をえい航して、A船の船尾端からB船の船尾端まで約115mの引船列（以下「A船引船列」という。）を構成し、A船に引き船灯 ^{*1} を含む法定灯火を表示し、B船の四隅に赤色点滅灯（計4個）を点灯していた。 A船引船列は、航海士Aが単独の船橋当直につき、レーダーを作動させ、約5ノット（kn）の速力（対地速力、以下同じ。）で自動操舵

*1 「引き船灯」とは、船舶その他の物件を引いている航行中の動力船が船尾灯の上方に表示する灯火で、135°にわたる水平の弧を照らす黄灯で、その射光が正船尾方向から各げん67° 30′までの間を照らすように装置されるものをいう。

により北進していた。(図 1 参照)

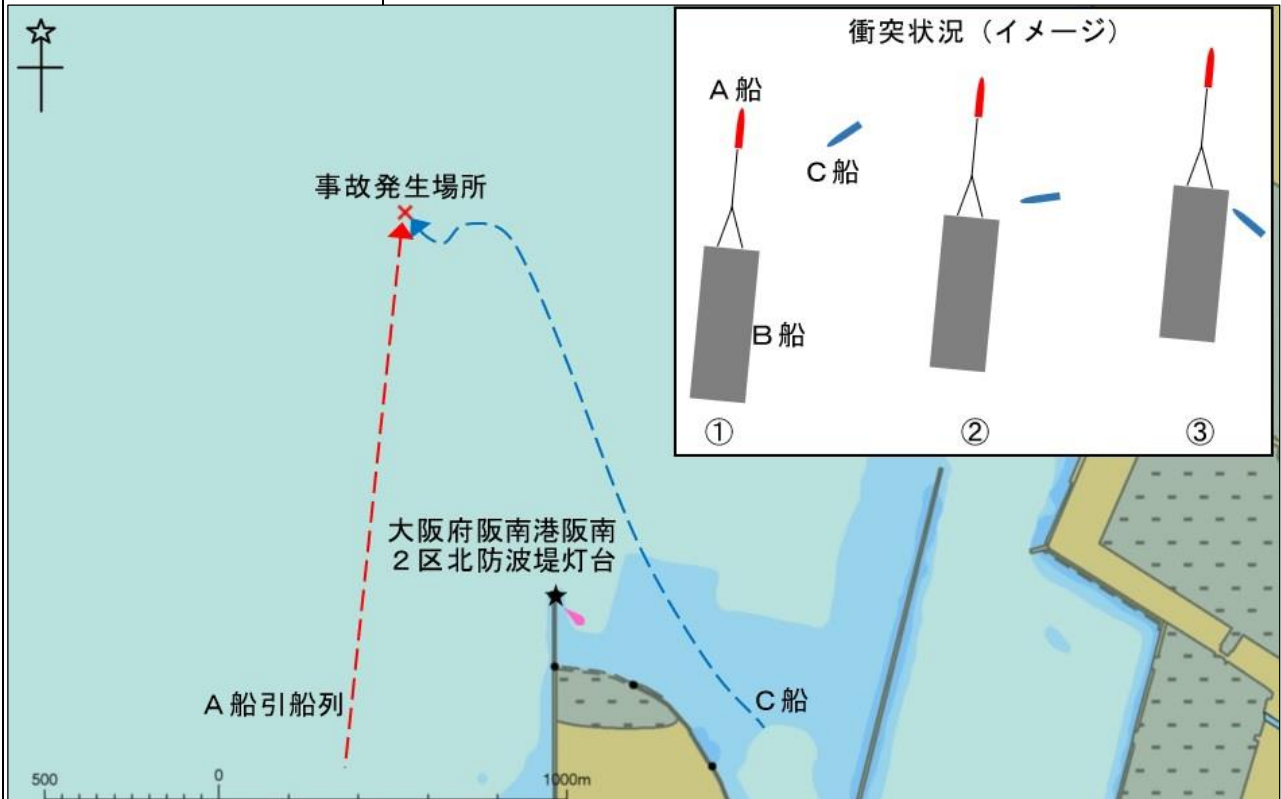


図 1 事故発生経過概略図

航海士 A は、右舷船首方に C 船のマスト灯及び左舷灯を認め、C 船の動静を監視していたところ、C 船が左転して南西進を始めたことを認めた。

航海士 A は、C 船が A 船の右舷船尾方を南西進して行ったので、そのまま A 船引船列の後方を通過すると思い、船首方を見て操船を続けていたところ、C 船が汽笛を鳴らしながら A 船の右舷方に接近してきたので A 船を止め、船長 C から C 船と B 船とが衝突したことを聞いた。

C 船は、船長 C が 1 人で乗り組み、法定灯火を表示し、約 8 ～ 9 kn の速力で自動操舵により、阪南港北西方沖の漁場に向けて北北西進していた。

船長 C は、左舷船首方に A 船のマスト灯及び右舷灯を認め、同じ針路で航行を続けると A 船と衝突するかもしれないと思い、A 船の後方を通過して漁場に向かうこととし、左転して南西進を始めた。

船長 C は、A 船の右舷船尾方で漁場に向け右転して北北西進とした際、船体に衝撃を感じて船首方を確認したところ、B 船の赤色点滅灯に気付き、C 船の船首部と A 船がえい航していた B 船の右舷船首部とが衝突したことを認めた。

船長 C は、A 船に追い付いて船長 A に B 船と衝突したことを知らせた後、118 番通報した。

船長 C は、C 船が A 船の右舷船尾方を南西進中、漁場に向けて右転

	し北北西進することに意識が向いていてA船の引き船灯を確認しておらず、A船が引船列を構成していることに気付いていなかった。
分析	A船引船列は、北進中、B船とC船とが衝突したものと考えられる。 C船は、A船の右舷船尾方を南西進中、船長Cが、漁場に向けて右転してA船の後方を北北西進することに意識が向いていてA船の引き船灯を確認しなかったことから、A船が引船列を構成していることに気付かずに右転して北北西進し、B船と衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、A船引船列が北進中、C船が南西進中、船長Cが、A船の引き船灯を確認しなかったため、A船が引船列を構成していることに気付かずに右転して北北西進し、B船とC船とが衝突したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・船長は、他船の付近を通過する場合、他船が物件をえい航したり漁具を引きながら航行したりしている可能性を考慮し、他船の表示する灯火及び形象物を適切に確認し、えい航物件や漁具に接近しないよう注意すること。